

# 代表質疑

9月2日(自由民主党千葉市議会議員団・民主党千葉市議会議員団)、3日(公明党千葉市議会議員団・日本共産党千葉市議会議員団・市民ネットワーク)、6日(新政ちば)の3日間にわたり、6会派の代表が平成21年度決算議案について質疑を行いました。

## 自由民主党 千葉市議会議員団

### 平成21年度決算の特徴と評価について

**問** 平成21年度決算は、実質収支額が7億2千万円と極めて少額で、厳しき決算であったが、今回の決算の特徴とその結果についてどのように評価しているのか。

**答** 平成21年度は国の定額給付金事業の実施や中小企業資金融資預託付金の増額により、歳入歳出規模がともに前年度比9.2%の増となる。一方、景気低迷の影響により市税収入が5年ぶりに58億円を超える大幅な減収となり、国民健康保険事業特別会計への繰り出しを一部取りやめることで一般会計の赤字を回避したものの、かつてない極めて厳しき決算であった。今後は財政健全化プランの新取組項目を着実に推進するほか、新たな項目の掘り起こしなど、財政健全化の早期実現に向けた取り組みが必要であると考えている。

### 補助金の適正化と今後の対応について

**問** 市が支出する補助金の適正化を図るため、市民から募集した意見を参考に、外部評価員による評価を行ったが、外部評価員意見や外部評価員の評価結果はどうであったのか。また、今後、その評価をどのように活用していくのか。

**答** 市民からは、公益性があり補助金を拡充・現状維持すべきもの、受益者負担から廃止を求め意見があった。また、外部評価員からは、補助の必要性や妥当性が乏しく廃止や縮小が望ましいなどの意見があった。今後、補助金の適正化を行うための参考とし、見直しの必要が認められる補助金については、可能なものから来年度予算に反映させていきたい。

### 幕張新都心拡大地区について

**問** 幕張新都心の拡大地区については長引く景気低迷や社会経済状況の変化を受けて、企業

誘致が進まず、ほとんどの土地が空き地になっている。先般、千葉県と共同で「早期土地利用に係る基本方針」を策定したが、今後、千葉市は幕張新都心の活性化にどのように関わっていくのか。

**答** 従来は県の策定した内容をもとに、本市が都市計画手続きを行うことにより、協力して事業を進めてきたが、今回、県・市共同で策定した基本方針をひとつの転機とし、本市も賑わいづくりなど様々な取り組みに関わり、県との連携のもと、幕張新都心の活性化に努めていきたい。



幕張新都心拡大地区

## 民主党 千葉市議会議員団

### 新基本計画における新たな都市像とは

**問** 新基本計画は本市の10年後のあるべき姿を示しているものであるが、少子高齢化が一層進行すると予測される社会にあつて、どのような都市像を描き、本市の魅力を生かすアピールしていくのか。

**答** 計画原案では重点的に実現すべきまちの個性として「未来をつくる人材が育つまち」「みんなの力で支えあうまち」「訪れてみたい・住んでみたいまち」の3つを定めている。

### 高齢者世帯への支援策について

**問** 高齢者の安否確認および戸籍や住民基本台帳記録の問

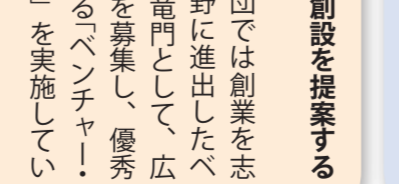
**答** 現在、自宅へ食事を届けるなど、介護サービスや安心電話などにより安否確認を行うほか、あんしんケアセンターにおいても、介護予防や高齢者の総合相談、権利擁護の生活支援を行っている。また、幸町団地では住民ボランティアを含めた見守り活動のモデル事業を実施している。

**問** 待機児童解消の取り組みとして幼稚園の活用が挙げられる。幼稚園の併設を進めるための拡大、保育園の併設を進める

**答** 配食サービスや安心電話などにより安否確認を行うほか、あんしんケアセンターにおいても、介護予防や高齢者の総合相談、権利擁護の生活支援を行っている。また、幸町団地では住民ボランティアを含めた見守り活動のモデル事業を実施している。

**問** 幼稚園の長時間預かり保育

**答** 現在、自宅へ食事を届けるなど、介護サービスや安心電話などにより安否確認を行うほか、あんしんケアセンターにおいても、介護予防や高齢者の総合相談、権利擁護の生活支援を行っている。また、幸町団地では住民ボランティアを含めた見守り活動のモデル事業を実施している。



幼稚園の長時間預かり保育

## 公明党 千葉市議会議員団

### 地域経済の活性化に向けて

**問** 活力ある地域経済の発展は重要な課題であり、各都市が様々な手法で積極的に取り組んでいる。本市でも地域経済の活性化に向けた強力な施策展開を望むが、これまでの取り組みを踏まえ、新たにどのような施策展開を図る

**答** 新事業の創出による市内開業率の向上を目指したビジネス支援センターや千葉大亥鼻イノベーションプラザでの企業支援に加え、今年度は、全米屈指のベンチャー開業率を誇るヒューストン市との経済交流実現に向けて着手したところである。

**問** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**答** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**問** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**答** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。



21年度の「ベンチャー・カップ CHIBA」



千葉大亥鼻イノベーションプラザ内のベンチャー企業

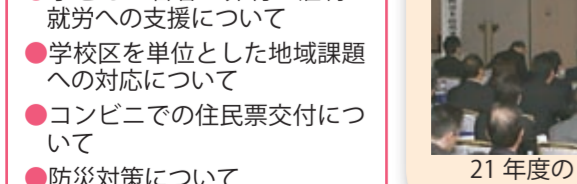
**問** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**答** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**問** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**答** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。

**問** 子育て支援策として、厚労省が来年度からの実施に向け予算要求する方針を明らかにしたが、見解と今後の取り組みは。



21年度の「ベンチャー・カップ CHIBA」

## 日本共産党 千葉市議会議員団

### 福祉型公共事業への先行投資

**問** 市内で倒産廃業が相次ぐ中、地域経済の活性化は待ったなしの課題である。保育所や特別養護老人ホームの整備などの福祉型公共事業の実施で地元業者に仕事が回り、保育所などの待機者も解消できる。その上、子育てしながら働く人が増えれば千葉市に税金を納める市民が増える。財政危機だけを強調せずに、市民の願いである福祉型公共事業に先行投資することで地域の活性化につながると思うがどうか。

**答** 地元業者の育成や市内雇用の確保などの観点から、特別養護老人ホームの整備や小・中学校の耐震化など地域経済の活性化に資する公共事業については、公共事業予算全体の中で重点的に配分していく。

### 地上デジタル放送 完全移行への対応

**問** テレビの地上デジタル放送完全移行を前に、このままではテレビ難民が大量に生み出されることになる。無償チューナーは住民税非課税世帯にも配布されるようだが、低年金の高齢者世帯にも広げようとするがどうか。

**答** 総務省では地デジチューナーやアンテナの支援対象世帯を拡充し、国民が等しく地上デジタル放送を視聴できるよう万全の体制を整備するとしており、

### 中学校夜間学級の設置

**問** 中学校夜間学級は全国に36校、県内では市川市に1校あるのみで、本市からも生徒が通っているようだ。市内に未就学者は何人いると想定しているか。また、本市が中学校夜間学級を設置することで、市内はもろん周辺自治体からも潜在的な希望者を振り起こすことができると思うがどうか。

**答** 平成12年の国勢調査では、15歳以上の義務教育未修了者は市内に619人いるとされており、これを参考数値としており、これを参考数値としており、中学校夜間学級を本市が設置することにより、周辺自治体への影響があることは十分に考えられるが、現段階では、二部学級としての夜間学級の設置は考えていない。

## 市民ネットワーク

### 平和への取り組みについて

**問** 7月に開催された「平和を願う市民の集い」では、広島市長の講演とシンポジウムが行われた。市長も出席したが、都市が平和への取り組みを行うことの意義をどう生かしていくのか。

**答** 市民に最も身近な都市が、そして世界中の都市が国家の枠を超えて連携し活動することには大きな意義があり、核兵器のない平和な世界につながるの思いを新たにしたい。

### 市民との協働の方向性について

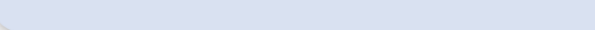
**問** 市民自治推進部という組織が新設され、「千葉市市民

**答** 市民、NPO、地域団体の事業者などと市が目的を共有し、それぞれの役割に応じて連携・協力し合いながら「みんなの力で支えあうまち」を目指していきたい。

### 自転車の安全利用 促進について

**問** 本市は自転車関連事故の割合が県内で高めとの調査結果もあり、さらなる対策が必要である。

**答** 本市では、自転車の安全利用と促進を進めるための条例を制定し、自転車利用者へ自転車の整備や保険加入を求めたり、道



色分けした自転車専用通行帯(中央区千葉港)

## 新政ちば

### 今後の市債残高について

**問** 平成21年度決算において、全会計の市債発行額は約1274億円と、前年度に比べ約155億円、13.8%の増加となっている。市長はマニフェストに、借金の残高を1兆円以下にする道筋をつけることを掲げているが、今後、市債残高を具体的にどのようにして考えているのか。

**答** 市債の発行は極力抑制し、残高を減らすべきと考えており、新たな財政健全化プランでは、建設事業債などの残高を、4年間で800億円以上圧縮することを目標に、最大限の努力をしていく。

### 「新しい公共」について

**問** お年寄りや障害のある方などが、自分たちの出番と居場所を見つけ、生きがいを持って働くことで、活気にあふれ住民満足度の高いまちが実現する。このように地域で誰もが生きがいを得られ、活躍できる場所を作ること

**答** 現在、環境問題をはじめ商店街の空き店舗の増加など地域における様々な社会的な課題がある。それらの課題を事業として解決する社会起業家を育てるため、日本全国からソーシャルビジネスのビジネスプランを募集し、優秀なプランを表彰する「ソーシャルビ

### ソーシャルビジネスカップ 創設を

**問** 現在、環境問題をはじめ商店街の空き店舗の増加など地域における様々な社会的な課題がある。それらの課題を事業として解決する社会起業家を育てるため、日本全国からソーシャルビジネスのビジネスプランを募集し、優秀なプランを表彰する「ソーシャルビ



21年度の「ベンチャー・カップ CHIBA」

## 一般質問

9月10日から9月16日まで19人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)をご覧ください。

- 高齢者の安否確認と旅行死亡人並びに戸籍整理手続及び住民票の職権削除について
- 特別養護老人ホームの整備について
- 住宅リフォームの助成制度について
- 印刷物のユニバーサルデザイン化について
- 志ある若者をふやす政策について
- 緑区平川町の産業廃棄物について
- ジェンダーフリー教育について
- 補助金の見直しについて
- 精神障害者の社会的自立への支援について
- 子どもが学ぶ環境について
- 高速バスについて
- 在宅で介護している家族への支援について
- 自治会と管理組合について
- 熱中症対策について
- 千葉市の花「オオガハス」について
- 子ども・若者の非行・虐待・就労への支援について
- 学校区を単位とした地域課題への対応について
- コンビニでの住民票交付について
- 防災対策について